



普及だより たむら

No. 207

2012.9

編集・発行

福島県県中農林事務所田村農業普及所

田村郡三春町大字熊耳字下荒井176-5

TEL (0247) 62-3113(代)

FAX (0247) 62-6069

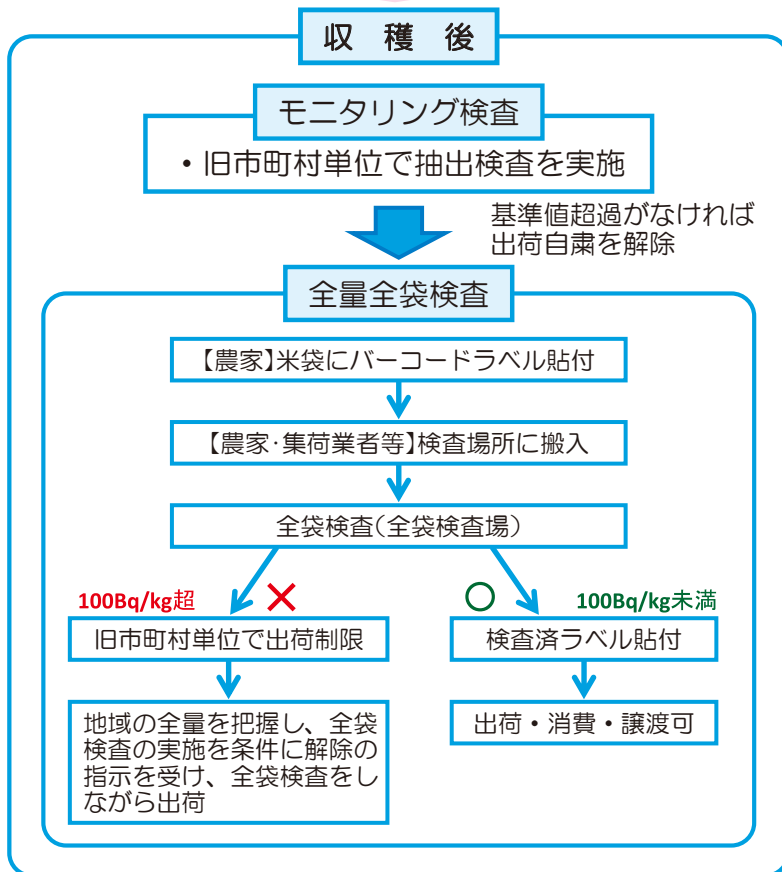
ホームページ

福島県県中農林事務所田村農業普及所



米の全袋検査のお願い

【平成24年産米の放射性物質検査の流れ】



注) 事前出荷制限を行う区域はこの検査の流れと異なります。
なお、田村市(作付制限区域を除く)・小野町・三春町は事前出荷制限区域には含まれません。

平成24年産米からは、放射性セシウム濃度の新たな基準値が設定され、1キログラム当たり100ベクレルを超える米の流通・販売はできなくなっております。基準を超える米を流通させず、消費者に安全な米を届けるため、また、皆さんが毎日食べる米や親戚等に贈る米についても、同様に安全を確認するため、県内で生産された全ての米を対象に、放射性セシウム濃度を検査する「全量全袋検査」を実施します。

米の生産者の皆様には、お手数をおかけいたしますが、24年産米は必ず全ての米袋を検査した上で、販売・譲渡・消費くださるよう、よろしくお願いいたします。

検査を受ける米は出荷米だけでいいの？

出荷する米だけでなく、飯米・縁故米・消費者に直接販売する米、ふるい下米など**全ての米が対象**となります。出荷する米はJA・出荷業者が検査を行います。

どうやって全袋検査を行うの？

米のベルトコンベヤー式検査機器を使って、1袋ごとに行います。**30kgに満たない米袋は検査できません**のでご注意ください。

検査を受けるにはどうすればいいの？

米生産者は検査を受ける前に、全ての米袋に「バーコード」を貼り付けてください。バーコードは地域協議会から送付されます。なお、検査は無料です。

全袋検査についての問い合わせ先

- ▷田村農業普及所(62-3113)▷田村市農林課(81-2511)
 - ▷三春町産業課(62-2112)▷小野町農林振興課(72-6935)
 - ▷たむらの恵み安全対策協議会(82-6172)
- (事務局・JAたむら営農販売課)

田村市都路町の青年農業者・吉田寛爾さんをご紹介します!

吉田さんは、農業短期大学を卒業した平成17年から農業を始め、父の修一さんと共に、トマト等の野菜を中心とした経営をされています。40aのトマト栽培では、「安全・安心で美味しく、消費者に喜ばれるトマトの栽培」に力を入れています。



昨年は、原発事故の影響により一時的に農業から離れましたが、今年の春にほ場の除染（表土除去）を行い、トマト栽培を再開しました。収穫前の検査では、放射性物質は検出されず、現在は収穫に充実した毎日を送っています。

また、吉田さんは青年農業者として活躍する傍ら、田村地方の農業青年クラブである『田村の若い「農」ネットワーク』の事務局長も務めており、これからの田村地域の農業を担う若者の中心的存在です。今後のますますのご活躍が期待されます。

福島県肉用牛共進会で見事「農林水産大臣賞」を受賞 第10回全国和牛能力共進会長崎県大会へ!!

平成24年7月21日（土）に第35回福島県肉用牛共進会（種牛の部）が本宮家畜市場で開催され、第1区に出品した田村市船引町の佐藤巧一さんの「まゆみ」号が1等1席さらには、全区を通じての最高賞である「農林水産大臣賞」を受賞しました。第2区1等1席を受賞した田村市船引町の吉田辰男さんと共に、福島県代表として今年10月に開催される第10回全国和牛能力共進会長崎県大会に出場することとなりました。肉牛の部では、田村市大越町の冨塚今朝郎さんが「東北農政局長賞」を受賞するなど、たむらの畜産パワーが発揮される結果となりました。



高原の花、「りんどう」をつくろう!!



収穫され、箱詰めを待つ「りんどう」

夏の暑さを嫌うりんどうは、あぶくま高原の冷涼な気候にぴったりで、「たむらのりんどう」の花色のよさは市場からも一目おかれています。昨年、今年と風評被害もなく販売は順調です。

県内で育種開発された「県オリジナル品種」は7～10月開花で計13品種あります。苗の注文メ切は年末ですので、興味のある方はお早めに普及所、JAまでご相談下さい。

りんどうの特徴、導入のポイント

- ・水田がよい。
→土壌の酸性度（pH5.5程度）がよい。畝間灌水ができる。
- ・宿根草なので定植して6～7年は栽培できます。
→定植して2～3年目に初出荷、その後4～5年間出荷できる。

所長あいさつ

東日本大震災とそれに伴う原子力発電所の事故は、私たちの生活はもとより農業生産にも大きな傷跡を残しました。見えない放射線への不安と闘いながら、復旧、復興や農業経営再建に取り組まれている農業者の皆様へ深く敬意を表します。

私たち普及所職員一同は、3.11 ふくしま復興の誓い 2012「ふくしま宣言」の「私たちは必ず、美しいふるさとふくしまを取り戻します。私たちは必ず、活力と笑顔あふれるふくしまを築いていきます。そして私たちは、このふくしま復興の姿を世界へ、未来へと伝えます。」を心に活動を進めてまいります。

皆様の、御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

県中農林事務所田村農業普及所長 佐藤 茂